

運行概要

平成29年度（2017年）から、アルピコ交通が運行していた大豆島線と長電バスが運行していた保科温泉線を統合し、長野市の廃止路線代替バス大豆島保科温泉線として運行を開始

●運行日：月曜日から日曜日までの週7日

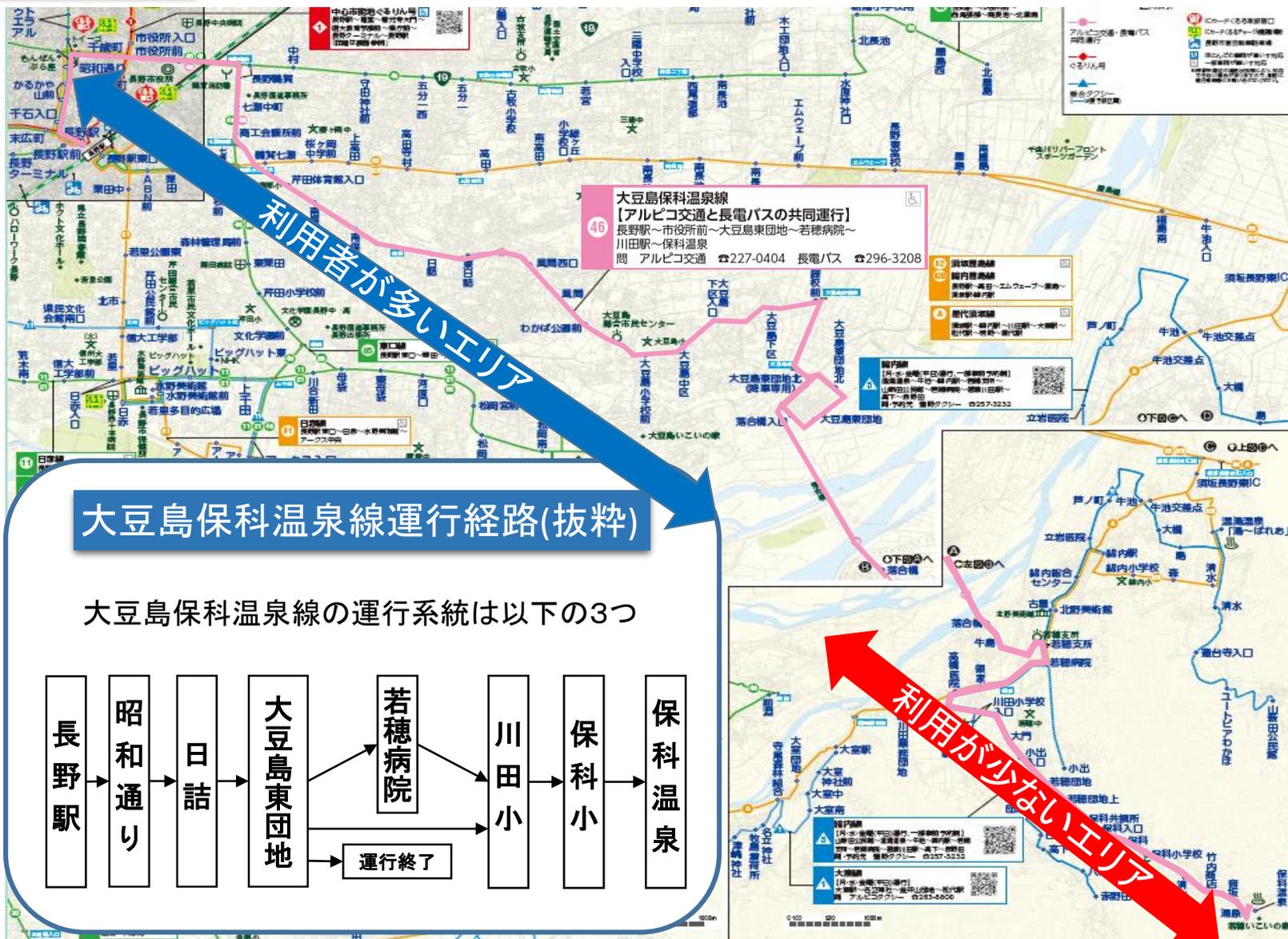
●運行事業者：アルピコ交通、長電バス

●運行便数：平日 長野行 21便 保科温泉行 21便
土休日 長野行 12便 保科温泉行 12便

●運行時間：平日 長野行 始発6：20 最終 19：55
保科温泉行 始発7：00 最終 21：20
土休日 長野行 始発7：00 最終 19：10
保科温泉行 始発7：40 最終 20：15

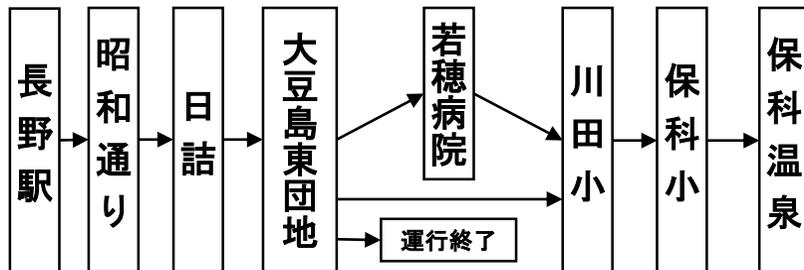
大豆島保科温泉線運行概要

運行路線図



大豆島保科温泉線運行経路(抜粋)

大豆島保科温泉線の運行系統は以下の3つ



大豆島保科温泉線の現状

利用者数の推移

年度別利用者数の推移をみると、コロナ禍の影響を受けた令和元年度（2019年）から減少し、令和4年度（2022年）の利用者数はピーク時から約3割減少している。

大豆島保科温泉線の利用者数の推移



大豆島保科温泉線の状況分析

一便あたりの利用者数令和3年度（2021年）

- 平日は、早い時間帯に長野駅方面に行き、遅い時間帯に大豆島・保科温泉方面に帰ってくる移動が多くなっている。長野駅方面行きの20便・21便の利用者数が1人未満となっている。日中は利用者数の差が大きい。
- 休日は、平日と比較して利用者数が少ない便が多い。長野駅方面行きの20便の利用者数が1人未満となっている。

(1) 平日



(2) 休日



大豆島・保科温泉方面行きの利用者数



大豆島・保科温泉方面行きの利用者数



分析状況まとめ

分析結果

- ①コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者が減少している
- ②平日は、早い時間帯に長野駅方面に行き、遅い時間帯に大豆島・保科温泉方面に帰ってくる移動が多い
- ③土休日は、全体的に利用者が少ない
- ④乗降回数は長野駅周辺～大豆島団地あたりまでが比較的多い
- ⑤若穂地区内の利用は全体的に少ない
- ⑥通勤・通学定期利用者の時間に偏りがある

大豆島保科温泉線の運行方針

方針

利用実態に合った効率的な運行の実施

見直し案

First step

利用の少ない土休日の運行本数を減便及び運行時刻の再設定

Second step

平日の利用者数の少ない便の減便及び運行時刻の再設定

Third step

利用の少ない運行区間の短縮及び短縮エリアでのデマンドバスによる運行

大豆島保科温泉線の見直しに伴う変更・取組状況及び今後の予定

変更予定

- ①土休日の減便
- ②平日の便の減便（R7年度から）
- ③若穂地区内の運行方法の見直し（未定）

取組状況・今後の予定

- R5.4 関係地区打ち合わせ
- R5.7 関係地区説明会（区長対象）
- R5.7 地域公共交通会議
- R5.9 見直し案 地区回覧
- R5.11 最終案決定
- R5.11 地域公共交通会議（協議）
- R6.4 土休日減便スタート